

「生命の森づくり」の感謝のご報告 2016年3月

～たくさんの個人や企業の皆様のご参加感謝～

2003年開始から2016年3月末までに16,590本(セット)、合計本数=33,180本の植林を実行できました。修復された草原は199,159㎡、荒廃した二次林の修復は331,800㎡、合計=530,959㎡(約160,896坪)=東京ドーム約11.3個分修復することができました。感謝！！

◆～コミュニティ林～地元民の収入機会を作り違法伐採を防ぐ～

人間に壊された熱帯雨林は森を壊した人間が何もしなければ500年以上も再生に時間がかかります。そんな自然の回復しない荒れ果てた草原に陽光と乾燥に強い「陽樹」のチークを植林します。植林したチークは、成長過程でCO₂を吸収固定し続けます。そして、地元の人たちの生計を支える林業を育成します。右端の写真は繁茂する下草を抑制するためにパイナップルを約3年間混植して管理しています。



植林準備地拵えした土地



チークを植林



チーク植林とパイナップル

◆熱帯雨林修復の森づくり～地球の気候安定のために熱帯雨林を再生

天然の熱帯雨林の主木を伐採されて、種子を落とす在来樹種の母樹もなく、森のバランスが崩れて、天然林の再生が不可能になっている森林には「陰樹」で将来主木に育つ地場の樹種を植林して、熱帯雨林の再生を目指す。



壊れた熱帯雨林の中に樹下植林2年目



二次林の中で樹下植林6年目



11年目でここまで育った

～「自然の力」「継続はチカラ」の証明～★100年後までも生命の持続を担保～

CO₂を吸収して、動物の生命維持に必要な酸素を放出し、水や大気の循環そして気候の安定に貢献します。

■林業公社の保護林の再生の実績画像

天然熱帯雨林再生植林10年の成果



自然のたくましい復元力が発揮されている

◆参加者の声

★Aさんの声

熱帯雨林の消滅に危機を感じていますが、このシステムでは5,000円で1セットから参加できるので、熱帯雨林再生のため、自分ができる最初の糸口として良いと思いました。

私は贈り物として母に贈りましたが、今までにない、木を植えるという夢のあるプレゼントにとっても喜んでもらえました。また、このプレゼントを機会に、環境問題や、熱帯雨林の問題により興味をもってもらえてその意味でもとてもよかったです。[20歳代女性]

★Bさんの声

御社の取り組みに大変感銘を受けました。

地球上のあらゆる異常現象が温暖化によるもの、それを防ぐためには熱帯雨林を取り戻すこと、そして人間は生活の一部として生業として植林をする、自然とともに生きる「象」に負けない生き方をする、素晴らしいことだと気持ちが昂ぶりました。

傍観者ではいられない状況が切々と身にしみました。

この事業にこれからの目標が定まりました。

人生六十四年を経た今、地球の肺を再生する大事業に、少しでも協力できるこのタイミングを失いたくはありません。

本に述べられている、『自分の一歩が地球と未来の子供達を、そして自分自身を救う』そういう一生を過ごしたいものです。「60歳代男性」



今を生き未来につなぐ

過去は私たちのものだが、私たちは過去のものではない。
わたしたちは現在を生き、未来をつくる。
たとえその未来に私たちがいなくても、
そこには子供たちがいるから。

《ガンジー魂の言葉より》